

学生団体Free!!!!について

2022/09/30作成

INDEX

説明の流れ

- 01 Free!!!!の活動方針
- 02 活動の流れ
- 03 立ち上げの経緯
- 04 これまでの活動
- 05 Free!!!!のこれから



①Free!!!!の活動方針

学び×話し合い×実践×学生

1 学び

Free!!!!では、実際に地域で話題になっている事柄や、社会的に注目されているテーマに対して学びの機会を提供していきたいと考えています。ここで扱うテーマは分野を決めたりはせずに、その都度Free!!!!が今設定すべきだと考えた事柄について学んでいきます。

2 話し合い

Step1にて学んだテーマに対して、そこでとどめることなく、自分の意見を互いに交換することで1人での学びでは得難い他の人の意見も持ち帰ってもらいます。そのため、Free!!!!が行うワークショップなどの活動の際には必ずディスカッションの時間を設けるようにしています。

①Free!!!!の活動方針

学び×話し合い×実践×学生

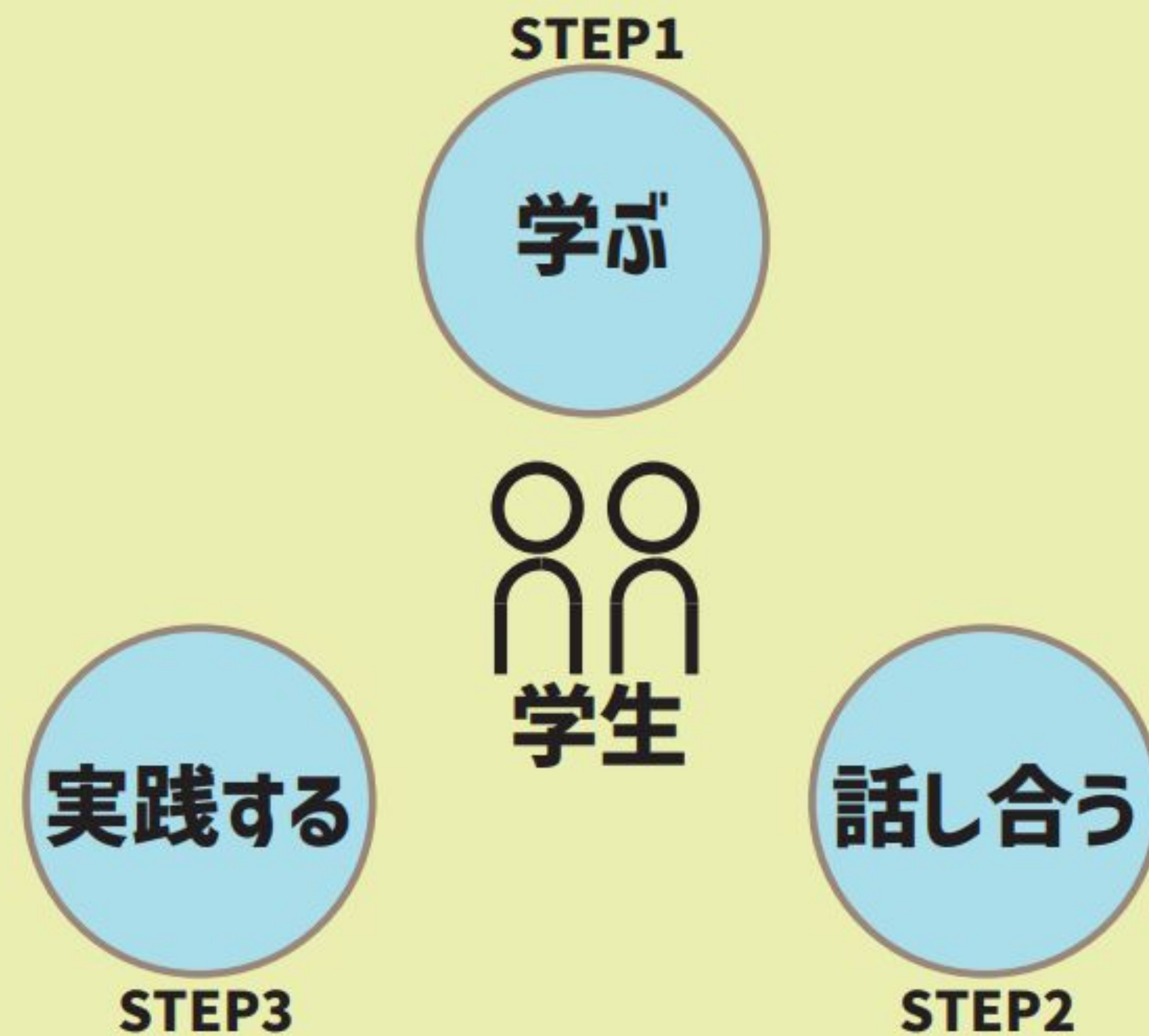
3 実践

step1、step2を通して得たものを実践に移すこと深みのある学びになることを目指します。学びから話し合いという流れはよく授業などでも使われています。Free!!!!では授業形式の学びでは終わらせずに、実際に行動に移すところまで含めて1つのプロジェクトとしています。

4 学生

主体・運営を学生が行うことで、参加の対象となる学生と似たアンテナでテーマを設定することができると思っています。また、教授や社会人といった大人の運営ではないため、運営と参加どちらもが学生であるため主体的に学び、発言、実践に移していけると考えています。

Free!!!! = 学び × 話し合い × 実践 × 学生



②活動の流れ

学び×話し合い×実践×学生

1

企画

中心メンバー(5名)

- 1 学ぶ
- 2 話し合う

2

プロジェクト メンバー決定

中心メンバー(5名)

Free!!!!メンバー(数名)

3

インプット

(ワークショップ等の開催)

プロジェクトメンバー

- 1 学ぶ
- 2 話し合う

4

アウトプット

プロジェクトメンバー

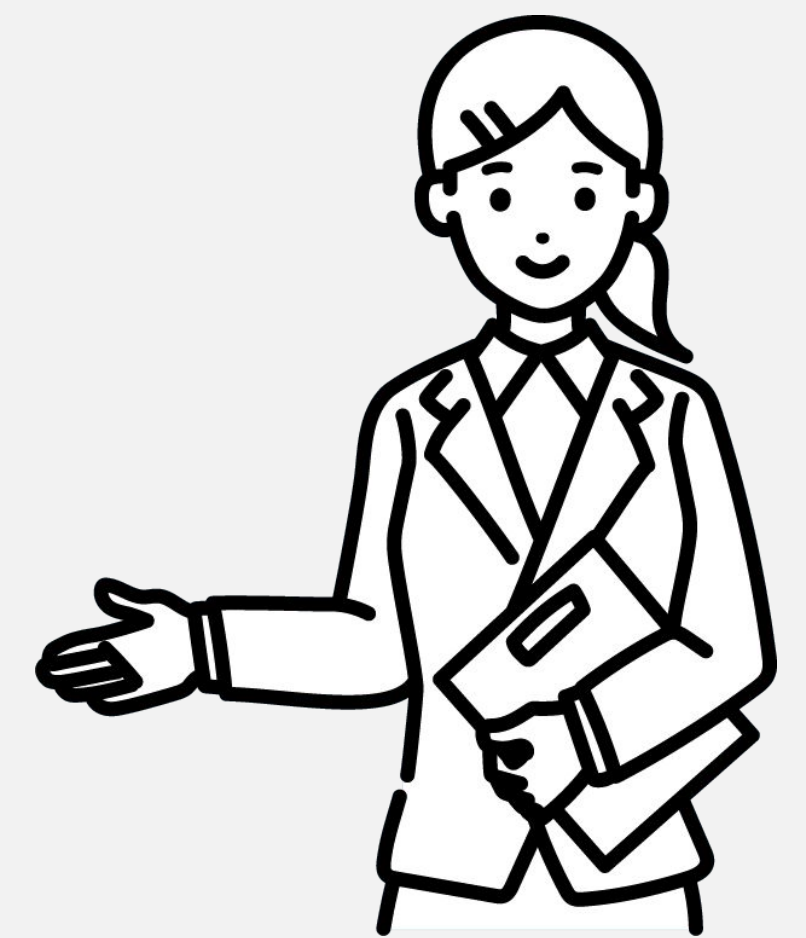
ワークショップ参加者(数名)

- 3 実践する

③立ち上げの経緯

最初の活動とそれに関わるその後の活動

- 1, 代表がワークショップ参加
- 2, ワークショップ開催を提案される
- 3, Free!!!!結成 ワークショップ開催に向けて
- 4, ワークショップ開催
- 5, ワークショップのその後



1, Free!!!!代表が生理の貧困に関するワークショップ参加

Free!!!!代表の保土沢が昨年宇都宮大学で行われたワークショップである「Time of the month.生理をとおしてみる社会」に参加する。このワークショップで宇都宮大学男女共同参画推進室の川面充子先生や地域デザインセンターと面識を持つ。

内容

- ・そもそも生理の貧困とは
- ・生理の貧困の背景にあるものとは
- ・実態として何が起きているのか
- ・私達にできることとは



開催趣旨

今年3月NHKが「学生の5人に1人が生理用品の入手に苦労している」など、「生理の貧困」が広がっている実態を報道して以降、この問題は急速に注目を集めるようになりました。なぜ、今「生理の貧困」が注目され、その背景に何があるのか。

本会では、議論を通して、生理の貧困を取り巻く様々な現状と課題について学び、学生の皆さんと一緒に社会課題解決の実践に繋がっていきます。

開催日時

11/19 Friday 16:00 - 18:00

16:00～ 趣旨説明
地域デザインセンター：野原 康弘

16:10～ 生理の貧困と社会的課題に関連する議論
男女共同参画推進室：川面 充子
栃木県済生会宇都宮病院：稲見 一美
(地域連携課医療ソーシャルワーカー)

17:10～ 休憩

17:20～ 質疑応答・意見交換

募集定員

宇都宮大学在学学生 20名程度(男女10名程度)

対面・オンライン (zoom) 開催

参加申込URL: <https://forms.gle/SjwUivq4RYumJ8>

申込締切: 11/19 (金) 24:00 まで
(ZOOMのURL・会場は申込後にご案内します)

主催

宇都宮大学男女共同参画推進室
宇都宮大学地域デザイン科学部附属
地域デザインセンター (地域デザイン研究会)

お問い合わせ

男女共同参画推進室
TEL: 048-649-3151
E-mail: gender@cc.atsunomiya-u.ac.jp
(※を@に置き換えてください)

2, ワークショップ開催を提案される

①

昨年の冬に地域デザインセンターに保土沢が「何かをやりたい！」という漠然とした相談をする。

②

丁度その頃、大学のトイレに生理用品の設置が検討されており、生理の貧困に対する学生のアイデアが求められていた。

③

そこで、これらに関するワークショップを開催してみないかと地域デザインセンターに持ちかけられる。

3, Free!!!!結成 ワークショップ開催に向けて

ワークショップ開催に向けて、保土沢が所属している地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科の学生に声をかけた。そこで集まったのがFree!!!!のメンバーとなった。



ワークショップの議題や、議論の方法、資料の作成などを行う。全員にとってイベントを自分たちで主催する初めての経験だったこともあり、地域デザインセンターに助けてもらいながら手探りで進めた。

4, ワークショップ開催

ジェンダーって何だろう？ ～生理の貧困について考える～

内容

- ・生理用ナプキンの機械設置に向けて設置に適した場所
- ・生理用ナプキンの配布方法について
- ・自身の生理についての見解や考え
- ・それぞれが興味を持つジェンダーに関わる社会問題
(LGBTQ、育休・産休、外国と日本の意識の違いなど)

地域デザイン科学部を中心に国際学部、農学部と幅広い学部生の参加があった。また、男性の参加者もあり、男性目線の意見も含めることができた。



開催日 2021年 12月23日(金)
参加者数 19名

4, ワークショップ開催



5, ワークショップのその後 ナプキン配布

配布するにあたり

- ・性別に関係なく配布する
- ・2つのキャンパス両方で配る
- ・チラシを作成して宇都宮大学生全員が 利用してるアプリで連絡してもらう
- ・それほど目立たない場所で配布する

実施日 2022年1月19日
1月25日

合計配布数 259セット

性別に関係なく、欲しい人みんなに！

生理用品を お渡しします

宇都宮大学で生理用品を配布します
エコバック等をご持参ください

配布日	第1回目2022年1月19日(水曜日) 第2回目2022年1月25日(火曜日)
配布時間	11時50分～13時、15時～16時
配布場所	峰キャンパス5号館1階ミーティングルーム I
配布物	生理用品 1セット＝昼用3パック(1パック28枚入り)

無くなり次第終了となります。

家族が「欲しい！」と言っていた
彼女に渡してみよう！
そろそろナプキンがなくなりそう
こんな理由も大歓迎！！
すごく助かる!!
お店で買うのは少し恥ずかしい

問合せ先 宇都宮大学男女共同参画推進室
e-mail: gender@cc.utsunomiya-u.ac.jp Tel: 028-649-5151 (内線5151)

チラシ作成者: Free! (学生活動団体)
チラシ作成: Free! (学生自主活動団体)

↑作成したチラシ

5, ワークショップのその後 トイレサインを再考しよう！

経緯

「ジェンダーってなんだろう？」の参加者に、宇都宮大学公認団体の宇都宮大学LGBTs研究会にじみやに所属している方がおり、川面充子先生を通してワークショップの共同主催をお誘いいただいた。

内容

宇都宮大学に設置される"みんなのトイレ"に使われるトイレサインを考える。
いくつかのトイレサインを参考にしながらみんなが使いやすい・分かりやすいトイレサインについて考えた。



皆が使いやすいトイレって？

にじみや × free!!!!
主催

トイレサインを再考しよう！

内容：多目的トイレってどんな人が使うんだろう？トイレのサインって何がいいんだろう？...
そんなことをみんなで考える2時間。あなたのアイデアを宇都宮大学に！

開催方法：全面オンライン（zoom） 共催：SMUA、ラーニングコモンズ学生スタッフ

お申込はこちらから！↓

2/14(月)
13:00~15:00
開催

QRコード

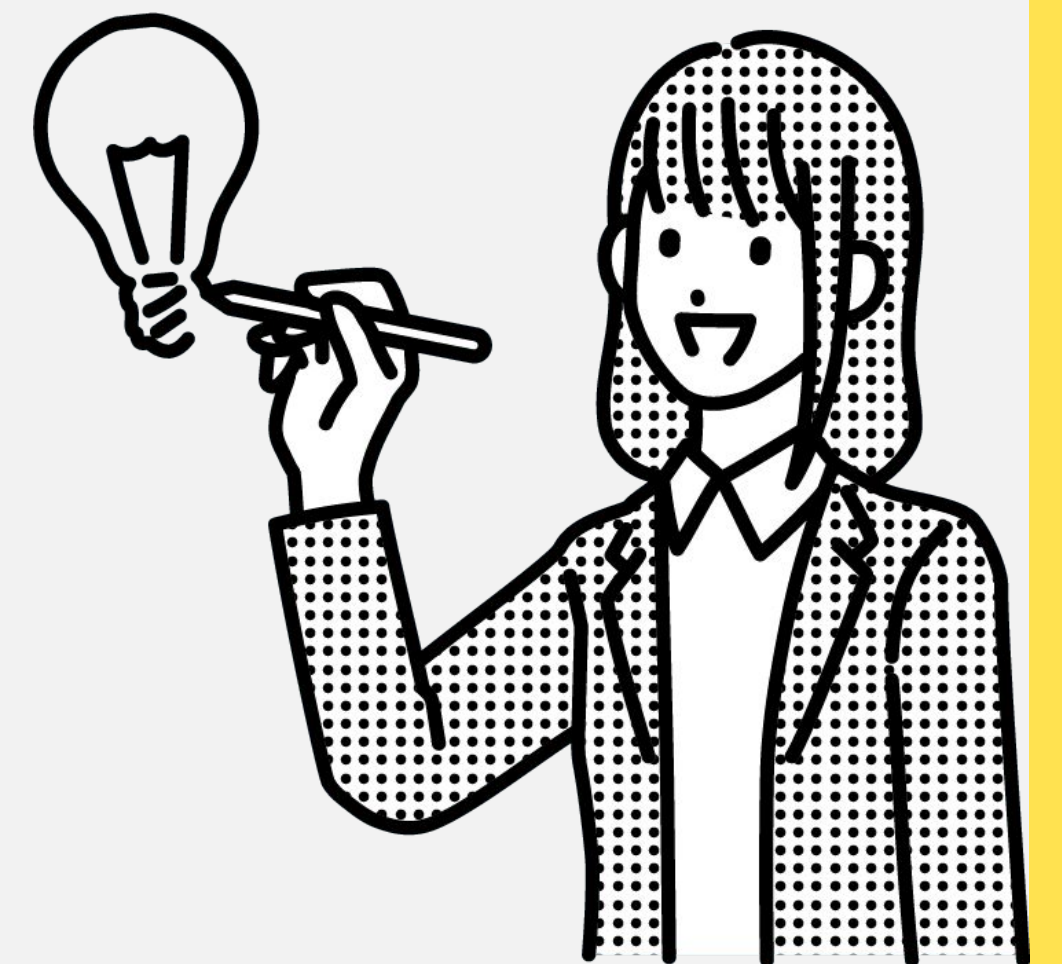
Twitter
➤ にじみや @nijimiya
➤ SMUA @SMUA_lgbts
➤ ラーニング・コモンズ @Udai_L_commons

5, ワークショップのその後 これからの活動

配布用ナプキンがまだ残っており、
どのように配布するのかを考えたい

考えていること

- ・配布方法について考えるワークショップをもう一度開く
- ・前回のように配布する
- ・生理の貧困について知ってもらいイベントを開く
- ・OiTrの設置に向けて協力していきたい。



④その他の活動内容

宇都宮のごみ削減について 考えよう！ 行動しよう！

イベントの概要

2022年2月に宇都宮市のゴミ処理施設で火災が発生し、宇都宮市のゴミ焼却能力の約7割を喪失した。そのため燃えるゴミの削減が求められていた。このことを知り、宇都宮大学生が大学内でできること、宇都宮市でできることを考えるためのワークショップを開催した。そこでの内容を宇都宮市へ提案し実現までを目指した。

申込フォームはこちら

もう他人じゃ済まされない!!
宇都宮のごみ削減について
考えよう! 行動しよう!

開催日時 2022年4月25日(月) 16時~18時
会場 対面開催(会場は申込み後にご案内します)
受付締切 2022年4月21日(木)

今年2月にゴミ処理施設「グリーンパーク茂原」で火災が発生し、宇都宮市はゴミ焼却能力の約7割を喪失しました。今まさに、燃えるゴミの大幅な削減が必要とされています。そこで宇都宮大学に通う私たちができることを話し合いませんか? 大学内での実施、市への提案を見据えて目の前の課題を考えよう!

主催: Free!!!! (学生団体)

Twitter Instagram

Utsunomiya University



なかのじょう探検隊

イベントの概要

群馬県中之条町で東京都北区と中之条町の小学6年生を対象とした森林体験学習プログラムをNPO法人中之条コネクトや中之条町と共に計画・実施した。
林業に触れてもらうこと・中之条町を知ってもらうことをテーマに自己肯定感を上げるためのプログラムにした。

参加者の感想

木が多くて空気がきれいできもちよかった。川が近くにあり、川の音など自然を感じられてよかった。木工体験が楽しかった。電ノコで切るのが楽しかった。



東京の友達と交流できたのとみんな楽しく過ごせたのがとても楽しかった。

⑤これからの活動

フィールドワーク研修

内容

自分たちの興味関心がある人・組織・場所に直接学びに行く。
大学内で学べないことや、専門外のことを学ぶ機会にする。

目的

興味の幅を広げる
新しい繋がりをつくる
今後の学びに繋げる

得られる経験

企画から実現まで大学生だけでやり通す
違う学部・学年と関わる
事務(会計や外部との連絡)



⑤これからの活動

食関連のイベントを開催

内容

宇都宮市の飲食店さんのお力添えをいただきながら、自分たちで企画をし、食に関するイベントを開催する。

目的

社会貢献
今後の学びに繋げる

得られる経験

企画から実現までやり通す
社会人と関わる
事務(会計や外部との連絡)

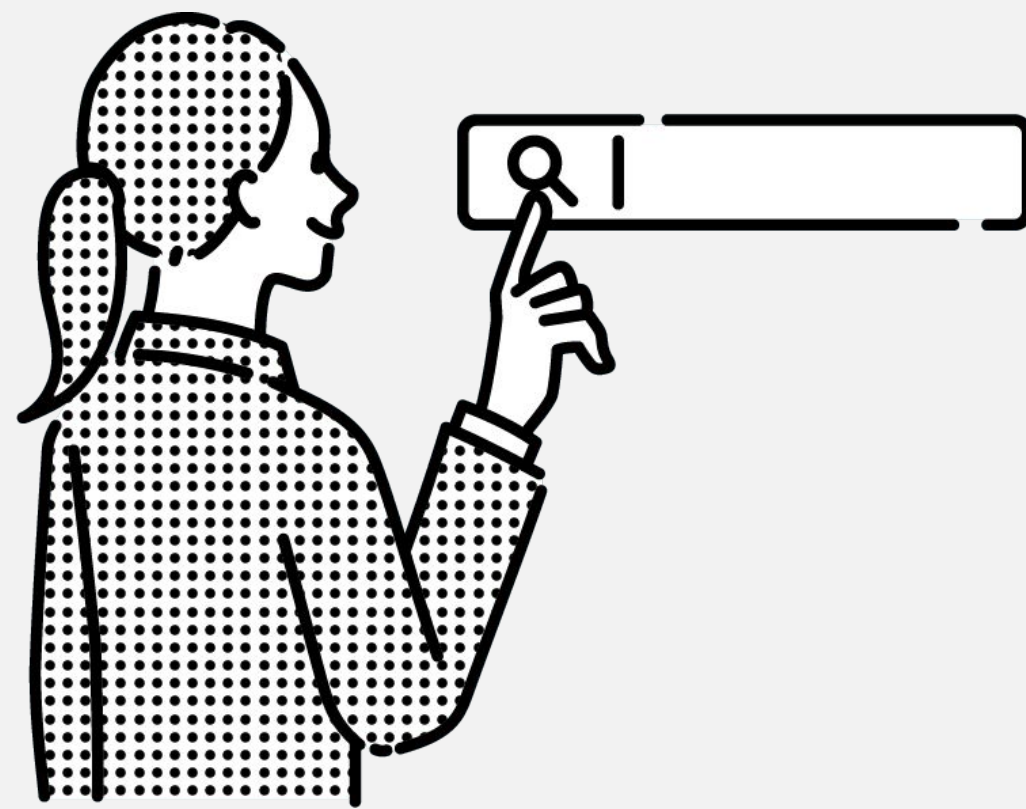


⑥広報

あしかもメディア

若者と、栃木のヒト・コト・モノ・シゴトを繋いでいく総合地域メディアであるあしかもメディアに取り上げていただきました！Free!!!!のコアメンバーそれぞれの活動への思いが紹介されています。

あしかもメディアの気になるニュースに掲載されているので、是非ご覧ください！



気になるニュース

頭で考えるだけで終わらせず、“実行に移せる居場所”をつくる。分野やテーマに囚われない自由な団体『学生団体Free!!!!』

📅 2022.09.17 | 吉田 梨央

SNS関連



Instagram



フォローお願いします!!



Twitter